三井化学株式会社



〒105-7117 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター http://jp.mitsuichem.com

2014年12月22日

各位

三井化学株式会社

三井化学と韓国 SKC 社とのポリウレタン材料事業統合について

~グローバルに価値を提供する総合ポリウレタン材料メーカーの誕生~

三井化学株式会社(本社:東京都港区、社長:淡輪敏)は本日、SKC Co., Ltd. (本社:韓国ソウル、CEO: Jang Suk Park、以下「SKC」)と、両社のポリウレタン材料事業を統合する合弁契約を締結しましたので、お知らせいたします。



(写真左から、SKC/Park CEO、三井化学/淡輪社長)

三井化学及びSKCは、必要な許認可の取得等を前提に、2015年4月1日を目途に合弁会社(以下「新会社」)を新設いたします。新会社は、ポリウレタン材料の総合メーカーとして、グローバルに顧客に価値を提供し、2020年近傍で年間20億米ドル(約2,400億円)の売上を目指します。

新会社の基本戦略は、以下の通りです。

1. 成長市場の需要獲得

新会社は、顧客との緊密な関係を基に、極東アジアから中国、アセアン、欧州、そして米州までカバーする三井化学と SKC の拠点ネットワークをフル活用し、効果的な技術サービスを顧客に迅速に提供することで、成長需要を獲得します。

2. 新規事業をグローバルに展開

新会社は、三井化学とSKC が有する製品群・技術力を融合し、新たな用途や顧客を開拓します。

3. 収益性の向上

新会社は、製販研全てにおける経営資源の効率的運用、および競争力ある自社原料の有効活用により、世界トップレベルのコスト競争力を確保します。

新会社は、三井化学と SKC のシステム事業を一体化することにより、統合シナジーの最大化を目指します。また、両社が長年に亘り蓄積してきたノウハウや情報を新会社が活用することで、顧客にトータルソリューションを提供して参ります。





〒105-7117 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター http://jp.mitsuichem.com

新会社の概要

会社名	未定	
本社所在地	韓国	
営業開始日	2015年4月1日	
出資比率	三井化学: 5 0 %、SKC: 5 0 %	
事業内容	ポリウレタン材料の製造、販売、研究	
売上	15億米ドル(約1,800億円)、2015年	
製品、拠点および		
生産能力	製品	拠点と生産能力(千トン/年)
	TDI	大牟田工場*1) 120
		鹿島工場*1)*2) 117
	MDI	大牟田工場*1)*2) 6 0
		麗水/韓国(KMCI)*3) 200
	ポリオール	名古屋工場 50
		徳山分工場 40
		グジャラート/インド (VCP) *4) 8
		蔚山(韓国) 180
	システム製品	中国(北京、天津、蘇州、佛山)
		タイ、 マレーシア、 インドネシア
		米国、 ポーランド
	TDI: トルエンジイソシアネート	
	MDI: ポリメチレンポリフェニルイソシアネート、メチレンジフェニルジイソシアネート、	
	およびそれらの誘導体	
	ポリオール : ポリエーテルポリオール、ポリエステルポリオール、バイオポリオール、	
	およびポリマーポリオール等のポリオール類	
	システム製品:ポリオール、その他原料、および添加剤の混合物	
	*1) 新会社から生産受託	
	*2) 2016年に生産停止	
	*3)KMCI:錦湖三	井化学株式会社
	*4) VCP: バイタルキャスターポリオール社、2015年からバイオポリオールの生産開始	
統合スキーム	1) 新会社の本社を韓国に設立。	
	2) 新会社の本社が SKC の事業と関係会社を承継し、日本子会社の 100%株式を保有。	
	3) 日本子会社が三	井化学の事業と関係会社を承継。

以上

【本件に関する問い合わせ】